

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2018年3月10日 No. 255

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

2018春闘満額勝ち取ろう！



本部・本社間の第1回団体交渉が3月6日に行われ、「定期昇給4係数の実施」及び「一律6,000円の引き上げ」を求めるとともに、①1987年9月24日、東日本鉄道産業労働組合（現東日本ユニオン）として「労使共同宣言」を締結して以降、労使双方「信義誠実」の原則のもと、あくまでも平和裡に労使間の話し合いにおいて自主解決を図ってきた。この考え方はこれからも変わることはない ②JR労働者の賃金は、努力に比べてあまりに低く「労働力の価値」に対して適性価格とは言えない。相応しい賃金を支払う責任がある ③JR東日本労働組合の考える賃金改善は、一律定額の「底上げ」だ。すべてのJR労働者が同じ時間軸において経営施策を担い、経験値を積み重ねている以上、労働力の価値に対する価格についても一律底上げだ ④JR労働者の生活は、改定が続く社会保険料や相次ぐ生活必需品の値上げで家計からの支出は増加の一途を辿っている ⑤すべてのJR労働者は、経営側の掲げる「横断的重点課題」を自ら考え、仕事と向き合い、着実にJR東日本グループの価値を向上させ続けている ⑥すべてのJR労働者の努力によって「2017年度通期業績予想」は間違いなく達成する

以上6点の東日本ユニオンの要求趣旨を団体交渉の場において会社にぶつけました。

第3四半期決算の比較

(単位:億円)

営業収益と運輸収入は6期連続の増収、第3四半期決算は過去最高です。また、経常利益、四半期純利益も過去最高です。

人件費はピーク時から約2,000億円減少している一方、JR労働者

	科目	2015年度	2016年度	2017年度
単体	営業収益	15,533	15,616	15,806
	うち運輸収入	13,679	13,757	13,926
	人件費	3,519	3,441	3,370
	営業利益	3,764	3,583	3,750
	経常利益	3,366	3,197	3,459
	四半期純利益	2,243	2,279	2,418

の基本給伸び率は30年で約1.4倍にとどまっています。この間の人件費削減や過去最高の増収・増益から見ても、「社員一律6,000円の引き上げ」は十分にできるのです！

春闘第2回団体交渉

3月12日(月) 13時30分～